

「国民・地域社会との共生」 電気事業者における取組状況について

電気事業連合会

平成19年5月31日

電気事業連合会

目次

1. 地域社会との共生に係る基本的考え方
2. 電気事業連合会行動指針
3. 情報公開の取り組み
4. 地域との対話・理解活動
5. 全国広報の実施
6. 産消交流活動
7. 学習機会の整備・充実
8. セキュリティを確保した見学活動
9. 地元自治体が行う理解活動への協力
10. 立地地域の地域振興への貢献
11. 信頼回復に向けた取り組み

地域社会との共生に係る基本的考え方

- 原子力事業の立地・運営は、立地地域とともに歩むとの姿勢が基本
- 安全確保を最優先にすることはもとより、地域の皆様の声を常に意識し、十分なコミュニケーションを図り、それを踏まえた事業運営が必須
- 地域社会のビジョンやニーズを把握しながら、事業者としてできる範囲で地域社会の発展に貢献

電気事業連合会行動指針 (平成14年12月改訂)

I. エネルギー基盤を支える基幹産業として

1. エネルギーの供給責任
2. 安全確保
3. 環境保全
4. 地域貢献

II. 社会から信頼される事業者として

5. 法令遵守
6. 誠実かつ公正な事業活動
7. コミュニケーション
8. 明朗な企業風土
9. トップの責務

情報公開の取り組み

電気事業連合会

立地地域をはじめ皆様から信頼される原子力施設とするため、
情報公開を積極的に推進

- 放射線や発電機出力などの運転データについて、リアルタイムで公表
- PR館等に設置した原子力情報公開コーナーにおいて、設置許可申請書、保安規定などの資料を公開
- 施設に関するプレスリリースやトピックスについて、ホームページで公表



中部電力の例：浜岡原子力発電所運転状況データ



中部電力の例：浜岡原子力館原子力情報コーナー

情報公開の取り組み

電気事業連合会

■地元自治体との安全協定に基づき、施設の運転保守情報、故障・トラブル等に関する通報連絡を実施



原子力規制 > 福島第一原子力発電所 > 自治体への通報連絡実績

周辺地域の安全確保に関する協定に基づく通報連絡

協定に基づき福島県及び大熊町、双葉町に通報連絡した情報の概要を公開しています。ただし、燃料輸送の計画に関しては、核物質防護の観点から非公開とし、輸送実施後の実績を公開します。

下の各件名をクリックすると概要が表示されます。

【平成19年4月に通報連絡した情報】

PDF版をご覧になるには
Acrobatリーダーが必要です。



月 日	件 名	備 考
4.02	福島第一原子力発電所における不適合処理・運転保守情報等について 定期検査中の1号機における運転上の制限の逸脱および復原に関する調査結果について (PDF177KB)	プレス発表
4.03	福島第一原子力発電所5号機 サプレッションプール水移送ポンプ室のハンドフットクロスモータの設定誤りについて (第1報)	
4.03	簡易型放射線計測器の設定誤りについて	プレス発表
4.06	「当社発電設備に対するデータ改ざん、必要な手続きの不備その他同様な問題に関する全社的な再発防止対策についての報告書」の提出について	プレス発表
4.10	福島第一原子力発電所における不適合処理・運転保守情報等について 定期検査中の4号機タービン建屋内における油漏れについて (PDF78KB)	プレス発表

東京電力 福島第一原子力発電所の例

情報公開の取り組み

電気事業連合会

■施設の故障・トラブルはもとより、機器の軽度な故障などを含めた不具合情報を公表(事象の重要度に合わせて迅速に公表)

公表区分	事象の概要と主な具体例	公表方法 (報道機関・ホームページ)
区分1	法律に基づく報告事象などの重要な事象 (例) ・計画外の原子炉の停止 ・火災の発生 など	夜間・休祭日を問わず、プレスリリース並びにホームページ掲載を実施。
区分2	法律の報告対象に至らない軽度な不具合など (例) ・安全上重要な機器等の軽度な故障 ・原子炉、燃料プール内等の異物の発見 など	休祭日を問わず、プレスリリース並びにホームページ掲載を実施。夜間の場合は、翌朝準備が整い次第実施。
区分3	信頼性を確保する観点からお知らせする事象 (例) ・原子炉の安全、運転に影響しない機器の故障 ・発電所構内における負傷の発生 など	前日に発生した不適合事象を翌日(平日)夕刻にとりまとめてホームページ掲載を実施。報道機関にはホームページ掲載の旨をお知らせ。
その他	上記以外の不適合事象 (例) ・日常の小修理 など	定期的にホームページ掲載を実施。報道機関には、定例記者懇談会等で情報提供。

東京電力の例:公表基準

地域との対話・理解活動

電気事業連合会

広聴・広報活動を通じた立地地域の皆様との対話により相互理解を促進

- 立地地域の各戸を訪問し、社員と立地地域の皆様との直接対話を実施
- 立地地域の皆様との懇談会、住民説明会等により地元の声を聴き、事業運営に反映



四国電力の例：訪問対話活動(1回/年)

社員と地域の皆様とが直接対話することで、地域の皆様の思いを自らの業務に活かす



関西電力の例：原子力懇談会(1回/年)

社長、経営層自らが地域の方々の声を受け止め事業運営に活かす

地域との対話・理解活動

電気事業連合会

- TV、ラジオ、新聞・雑誌広告などを通じ、立地地域の皆様への幅広い広報を展開
- さらに、定期情報誌、パンフレット、ビデオなど、多様な広報手段による理解活動を推進



日本原燃の例:TV情報提供番組(毎週放送)
「ツカエルくんのエネタン！」

県内のエネルギー関連施設などを訪ね、どのような取組みを行っているかを紹介



日本原燃の例:定期情報誌(隔月発行)
「新かわら版 青い森青い風」

青森県の素晴らしさが再発見できる情報、事業に関する話題などを紹介

全国広報の実施

電気事業連合会

各事業者による立地地域広報に加え、全国の皆様への理解活動を電気事業連合会にて実施中

- 電力業界共通の公益的課題としてプルサーマル計画の推進や地球環境問題に対する取組み等への理解促進のため、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、パンフレット等による全国広報を実施。
- 今後は高レベル放射性廃棄物処分場選定の全国的な理解促進のため、NUMOを支援していく。



プルサーマル広告の例
(SKYWARD 2007/3号)



テレビCMの例
(「ブーメラン・プルサーマル」編)

産消交流活動

電気事業連合会

電力生産地と消費地の交流活動を通じ、生産地に対する理解を深めて頂く

■ 交流イベント開催



電力生産地と消費地の交流を通して双方の意識格差を解消し、電気が社会にとっていかに重要であるかを再認識して頂くことを目的に実施（年1回、大阪と若狭地域の小学生高学年の生徒とその保護者が参加）

関西電力の例:「かんでんこどもサミット」

■ 産直品の消費、販売の促進

東京電力の例:首都圏PR施設(電力館、TEPCO SONIC等)における「でんきのふるさとフェア」(電力生産地(福島・新潟・青森各県)紹介、物産販売) 6回/年

学習機会の整備・充実

電気事業連合会

次世代層への環境・エネルギー教育支援活動に加え、官庁との連携による環境・エネルギー教育の拡充、及び人材の育成を行う

■環境・エネルギー教育の拡充

文部科学省や経済産業省と連携し、「地域こども教室」や「公民館等でのエネルギー教育」へ講師を派遣

■多様な学習機会の整備

出前授業、科学実験教室の実施、
ホームページでの学習コンテンツの整備等



東京電力の例：ホームページ学習コンテンツ
「やってみよう！考えよう！資源・エネルギー」

学習機会の整備・充実

電気事業連合会

■人材育成(寄附講座、講師派遣)

- ・新潟大学大学院自然科学研究科への寄附講座(東京電力)
- ・新潟大学、新潟工科大学、上越教育大学への講師派遣(東京電力)
- ・福井大学大学院原子力・エネルギー安全工学専攻の寄附講座への協力、講師派遣(関西電力)
- ・名古屋大学への寄附講座・講師派遣(中部電力)
- ・八戸工業大学、八戸高専への講師派遣(日本原燃)

等

セキュリティを確保した見学活動

電気事業連合会

核セキュリティの確保と見学の可能性の確保という2つの要請を両立させる努力を実施中

■昨今の社会情勢による施設の警備強化から、構内の見学を制限している状況

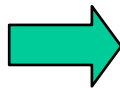
■警備上の留意点に配慮しつつ、見学コースの工夫やPR館の展示物を充実

- ・技能訓練センター、シミュレータ、見学ギャラリー等の活用
- ・重要施設の見学をPR館で疑似体験できるよう、模型、映像等の充実を主体にPR館の展示物を更新

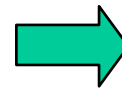
東京電力の例：福島第二発電所見学コース（約140分）



PR館



展望台



シミュレータ室

地元自治体が行う理解活動への協力

電気事業連合会

地元自治体を実施する住民との相互理解活動に協力

- 地元自治体の議会等への情報提供、施設状況の説明を実施
 - ・日本原燃の例：青森県議会全員協議会、青森県全市町村長会議
 - ・関西電力の例：福井県原子力環境安全監視委員会、美浜町議会全員協議会

- 地元自治体が開催する住民説明会等へ参加し、原子力に係る情報提供、説明を実施
 - ・東京電力の例：柏崎刈羽原子力発電所の透明性を確保する地域の会
 - ・中部電力の例：原子力とくらし市民懇談会（掛川市）

- 地元自治体が開催する原子力に関する研修会等への説明を実施
 - ・日本原電の例：原子力教育に関する教育研修会（茨城県主催）

立地地域の地域振興への貢献

電気事業連合会

原子力施設が所在することを長期的、広域的、総合的な地域振興に活かしていくための取り組みを加速

- 地場産業として、地域の雇用促進、地元企業からの調達、地元企業の技術力向上を支援
- 立地地域の皆様との交流を目的とした地域の祭りやイベントへの積極的な参加
- 立地地域が主体的に構築した地域振興ビジョンに対して、もてるノウハウを活用し積極的に参加

信頼回復に向けた取り組み

- 発電設備等における過去のデータ改ざん問題等について、事業者は、国からの総点検の指示を受け、調査結果を報告するとともに、再発防止策、行動計画を提出

情報公開、透明性の確保に係る再発防止策の例

- ◇原子力発電施設の保安検査結果の公開
- ◇原子力施設情報公開ライブラリー(ニューシア)への登録の推進
- ◇情報公開制度の点検・充実(判断に迷わない情報公開基準の作成)
- ◇社外有識者のご意見を聴く会の設置

- 事業者は、社長をはじめとする経営者が、地元自治体などに調査結果、再発防止策、行動計画の説明を実施中
- 今後、徹底した再発防止と安全文化の再構築・定着を図るとともに、事業者の取り組みを適宜、立地地域の皆様に説明していくことで、信頼回復に努める